



散布日	露地作型						散布日	ハウス作型					
	回数	散布時期	散布薬剤	濃度	水 100ℓ 当薬量	対象病害虫		回数	散布時期	散布薬剤	濃度	水 100ℓ 当薬量	対象病害虫
／	①	4／上 萌芽期	展着剤（ハイテンパワー） オーソサイド水和剤 80 オルトラン水和剤	10,000倍 600倍 1,500倍	10ml 166g 66g	立枯病 アブラムシ類 ヨトウムシ	／	①	2／上 萌芽期	展着剤（ハイテンパワー） オーソサイド水和剤 80 オルトラン水和剤	10,000倍 600倍 1,500倍	10ml 166g 66g	立枯病 アブラムシ類 ヨトウムシ
／	②	4／下 出蕾期	展着剤（ブレイクスルー） ゲッター水和剤	10,000倍 1,000倍	10ml 100g	灰色かび病	／	②	出蕾期 展葉期	ガードベイトA	3 kg/10a 株元散布	－	ネキリムシ類
／	③	5／上 摘蕾後	展着剤（ブレイクスルー） スミチオン乳剤 ポリオキシシ AL 水溶剤	10,000倍 1,000倍 2,500倍	10ml 100ml 40g	灰色かび病 ハマキムシ類 （アブラムシ類、コウモリガ）	／	③	茎葉 繁茂期	展着剤（ブレイクスルー） スミチオン乳剤 トレノックスフロアブル	10,000倍 1,000倍 500倍	10ml 100ml 200ml	灰色かび病、 ハマキムシ類、 （アブラムシ類）
／	④	5／中 収穫 3 日前	展着剤（ブレイクスルー） アクタラ顆粒水溶剤 フルピカフロアブル	10,000倍 2,000倍 2,000倍	10ml 50 g 50 ml	灰色かび病 （アブラムシ類）	／	④	摘蕾後	展着剤（ブレイクスルー） ポリオキシシ AL 水溶剤	10,000倍 2,500倍	10ml 40g	灰色かび病
／	⑤	6／中 花芽 形成期	展着剤（ハイテンパワー） ゲッター水和剤 オルトラン水和剤	10,000倍 1,000倍 1,500倍	10ml 100g 66g	灰色かび病 ヨトウムシ、 アブラムシ類	／	⑤	収穫 3 日前	展着剤（ブレイクスルー） アクタラ顆粒水溶剤 フルピカフロアブル	10,000倍 2,000倍 2,000倍	10ml 50g 50ml	灰色かび病 （アブラムシ類）
／	⑥	7／上	展着剤（ハイテンパワー） モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病	／	⑥	5／下 花芽 形成期	展着剤（ハイテンパワー） トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200 ml	灰色かび病 （褐斑病、炭そ病）
／	⑦	7／下	展着剤（ハイテンパワー） トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200ml	灰色かび病、 （褐斑病、炭そ病）	／	⑦	6／中	展着剤（ハイテンパワー） ゲッター水和剤 オルトラン水和剤	10,000倍 1,000倍 1,500倍	10ml 100g 66g	灰色かび病 アブラムシ類 アオムシ ヨトウムシ類
／	⑧	8／下	展着剤（ハイテンパワー） トップジンM水和剤	10,000倍 1,500倍	10ml 66g	灰色かび病 （うどんこ病）	／	⑧	7／上	展着剤（ハイテンパワー） モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病
／	⑨	9／中	展着剤（ハイテンパワー） モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病	／	⑨	7／下	展着剤（ハイテンパワー） トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200ml	灰色かび病 （褐斑病、炭そ病）
／	⑩	8／下	展着剤（ハイテンパワー） トップジンM水和剤	10,000倍 1,500倍	10ml 66g	うどんこ病	／	⑩	8／下	展着剤（ハイテンパワー） トップジンM水和剤	10,000倍 1,500倍	10ml 66g	灰色かび病 （うどんこ病）

- ◎灰色かび病は低温、多湿で発生するので、ハウス内換気等総合的に防除する。また間引き作業によって風通しを良くする。
- ◆ 灰色かび病の防除にあたっては、同一薬剤の連用は避ける。治療効果を求める場合は、ゲッター、ポリオキシシ AL、ピクシオ のいずれかを選択する。
 - ◆ 斑葉病（茎の赤い斑点）は、通風、残さ処理、草丈 15 cm 時の防除 が重要 除草と定期防除を行う。
 - ◆ 出蕾以降の灰色かび病発生時には、薬剤の汚れ軽減のためアフェットフロアブル 2,000 倍を代用して散布してもよい。
 - ◆ 収穫後は、ゲッター水和剤を茎葉と地際部にも散布し灰色かび病と立枯病を予防する。
 - ◆ うどんこ病発生初期にショウチノスケフロアブル 2,000 倍を特別散布する。 11 月まで病害発生を防ぎ十分な養分蓄積を目指す。
 - ◆ 10a 当たり薬剤散布量は、萌芽期 1000、出蕾期 2000を目安とし、以降は 3000とする。展着剤 果樹栽培者は、ブレイクスルー に代えて ササラ 3,000 倍 でもよい。

シャクヤク（花き）農薬適正基準

薬剤名	発生病害虫	希釈倍率	使用時期	使用方法	使用回数(以内)
オルトラン水和剤	アブラムシ類、(1,000 倍アオムシ、ヨトウ	1,000～1,500 倍	発生初期	散布	5 回
スミチオン乳剤	アザミウマ類、ハマキムシ類、アオムシ	1,000 倍	発生初期	散布	6 回
アクタラ顆粒水溶剤	ミカンキイロアザミウマ 1,000 倍、ハモグリバエ類	2,000 倍	発生初期	散布	6 回
ゲッター水和剤	灰色かび病	1,000 倍	生育期	散布	5 回
トップジンM水和剤	菌核病、	1,500 倍	生育期	散布	5 回
ポリオキシシ AL 水溶剤	灰色かび病、うどんこ病、黒斑病、ハダニ	2,500 倍	発生初期	散布	8 回
フルピカフロアブル	灰色かび病	2,000～3,000 倍	発病初期	散布	5 回
アフェットフロアブル	灰色かび病、うどんこ病	2,000 倍	発病初期	散布	3 回
トレノックスフロアブル	灰色かび病、炭そ病	500 倍	発病初期	散布	6 回
ピクシオ DF 取り寄せ	灰色かび病	2,000 倍	発病初期	散布	4 回
オーソサイド水和剤 80	立枯病、茎腐病	600 倍	－	散布	8 回
モレスタン水和剤	うどんこ病、（ハダニ類）	2,000～3,000 倍	発病初期	散布	10 回
トリフミン水和剤	うどんこ病、（炭そ病）	3,000 倍	発病初期	散布	5 回
カリグリーン	うどんこ病	800 倍	発病初期	散布	-
サンヨール	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハダニ類	500 倍	発生初期	散布	8 回
ダコニール 1000	うどんこ病、斑点病	1,000 倍	発生前（予防）	散布	6 回
モンカットフロアブル 40 取り寄せ	白絹病	1,000～2,000 倍	－	株元散布	3 回
ユニフォーム粒剤	立枯病（リゾクトニア菌）	18kg／10a	定植時または生育期	土壌表面散布	3 回
ガードベイト A	ネキリムシ類	3kg／10a	生育初期	株元散布	6 回
ショウチノスケフロアブル	うどんこ病	2,000 倍	発病前～発病初期	散布	2 回

病害虫発生前の早期防除に取り組み、安全・安心な農産物生産しましょう。 ※農薬混用例 水→ 展着剤→ 液剤→ 乳剤→ 顆粒水溶剤→ 水溶剤→ フロアブル剤 → DF → 水和剤